

カキ生育情報

千葉県

平成21年6月号

【5月の気象】

平均気温は平年に比べ第1～5半旬が0.7～1.6高く、第6半旬が0.4低くなり、月平均気温は0.7高かった。降水量は平年に比べ第1、第6半旬が多かったが、その他の半旬では少なく、特に第3、第4半旬ではほとんど降雨がなく、月合計では192mmであった。日照時間は平年に比べ第1、第3半旬で多く、残りの4半旬で少なく、月合計では165時間で21時間短かった。

表1 平成21年5月の気象(暖地園芸研究所)

月	半旬	平均気温(℃)		降水量(mm)		日照時間(hr)	
		本年	平年	本年	平年	本年	平年
5月	1	18.1	16.5	44	21	35	30
	2	17.9	17.2	28	29	26	30
	3	18.3	17.6	0	40	34	30
	4	18.9	17.7	3	28	21	30
	5	19.1	18.4	20	31	20	31
	6	18.6	19.0	98	28	29	36
合計/平均		18.5	17.8	192	178	165	186

【樹の生育】

暖地園芸研究所の開花盛期は、西村早生が5月15日、松本早生富有が5月20日、富有が5月21日で平年より3～4日早く、開花期間は平年より2～3日短く、6日程度であった。当所における着花量は、西村早生、富有、松本早生富有ともに平年並であった。いずれの品種も新梢伸長は旺盛で、目立った病虫害は発生していない。

市原市の松本早生富有の樹の生育は、昨年よりも開花は4日程度遅く、開花期間は4日短かった。着花量は多く、強風による枝折れが確認された。また目立った病虫害の発生はなかった。

いすみ市の西村早生は、開花が昨年よりも11日早く、開花期間が8日間であった。着花量は平年並で、目立った病虫害の発生は無かった。また生理落果は現時点で確認されていない。

表2 開花日(平成21年)

品種	調査地	開花日(月・日)								
		始期			盛期			終期		
		本年	昨年	平年	本年	昨年	平年	本年	昨年	平年
西村早生	いすみ市	5.12	5.23	-	5.16	5.27	-	5.20	6.1	-
	暖地園研	5.13	5.17	5.14	5.15	5.20	5.18	5.18	5.22	5.23
松本早生富有	市原市	5.16	5.20	-	5.20	5.25	-	5.25	6.2	-
	暖地園研	5.17	5.24	5.20	5.20	5.26	5.24	5.23	5.28	5.28
富有	暖地園研	5.18	5.23	5.20	5.21	5.26	5.24	5.24	5.28	5.29

注1) 暖地園芸研究所における平成2年から19年間の平均値

【6～7月の作業の要点】

摘果

摘果作業は、果実肥大を良好にし、花芽分化を促進して隔年結果を防止するので、早めに行いたい。生理落果が終了する6月下旬頃から始め、7月上旬頃までに終わらせるようにする。その際、果実、ヘタともに健全な果実を残し、上向きの果実は摘除する。

着果量の目安は、1果当たり葉数が20～25枚程度とし、葉が5枚以下の結果枝には着果させない。目標とする着果数は、10a当たりで西村早生が12,000果、松本早生富有が11,000果、富有が12,000果程度とする。幼果数の多い樹では、来年の着果を確保するために摘果作業は確実にしたい。また摘果と同時に予備枝に使わない不定芽を摘除し、病害虫の発生を予防する。

不完全甘ガキの西村早生では、種子数が少ないと渋果になる。そのため、果頂部が凹んでいる果実は必ず摘果し、腰高の果実を残すようにする。ただし、8月中旬頃と収穫前の9月にも渋果を樹上選果するので、7月の時点では目標着果数より2割程度多め(10a当たり14,000～15,000果)に果実を残しておく。

病害虫防除

6月下旬から7月下旬まではうどんこ病、落葉病、炭疽病とカキノキマダラメイガやヒメコスカシバなどが類の防除時期である。ただし、西村早生では、使用する薬剤によっては薬害が生じるので十分注意する。

それぞれ、千葉県農作物病害虫雑草防除指針を参考に薬剤を散布する。

《生育情報の問い合わせ先》

千葉県農林総合研究センター暖地園芸研究所 果樹研究室 TEL 0470 - 22 - 2961

果樹の生育情報は「ちばの農林水産業」の「生産技術に関する情報」でもごらんいただけます。 <http://www.pref.chiba.lg.jp/nourinsui/>